

聖徳大学 通信教育部

児童学部 / 児童学科 心理・福祉学部 / 心理学科 / 社会福祉学科 人文学部 / 英米文化学科 / 日本文化学科

アイコン表示内容：
 科目終了試験予定
 本学ピアノレッスン 及び試験予定
 地方ピアノレッスン 及び試験予定
 その他の予定

2012. 5

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
4/29	30	1	2	3 事務取扱休業	4 事務取扱休業	5 事務取扱休業
6 事務取扱休業	7 受付開始 (6/3分) 地方ピアノレッスン 受付開始 (6/17分)	8	9	10	11	12
13 試験日 試験日	14 卒業予定届 受付開始	15	16	17	18 受付締切 (6/3分) 地方ピアノレッスン 受付締切 (6/17分)	19
20	21 受付開始 (7/1分)	22	23	24	25 夏期スクーリング レポート締切 レポート締切 (7/29分) 卒業予定届 提出締切	26
27	28	29	30	31	6/1 受付締切 (7/1分) 夏期スクーリング 申込締切	2

2012. 6

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
5/27	28	29	30	31	1 受付締切 (7/1分) 夏期スクーリング 申込締切	2
3 試験日	4 受付開始 (7/1分)	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15 レポート締切 (8/19分) 受付締切 (7/1分)	16
17 地方ピアノレッスン 試験日	18 受付開始 (7/29分) 受付開始 (7/15分)	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29 受付締切 (7/29分) 受付締切 (7/15分)	30



レポート・科目終了試験

レポート課題について

大学

レポート・科目終了試験

スクーリング

お知らせ

再掲 平成24年度レポート課題・テキスト教材の変更(新入生以外)

4月よりレポート課題及びテキスト教材が変更となる科目は『聖徳通信4月号』22～23ページに掲載しています。

変更があるものには“○”印がついています。

2011年度までのレポート課題(旧課題)の締切日は、7月20日(金)となりますのでご注意ください。

締切後は、平成24年度「シラバス・レポート課題集」に掲載されています、新テキスト教材を各自購入し新課題を提出していただくことになります。

重要 平成24年度「シラバス・レポート課題集」の誤植について

平成24年度「シラバス・レポート課題」の一部において誤りがございましたので、以下の通り訂正いたします。

※その他の誤植については『聖徳通信4月号』24～26ページでお知らせしています。あわせてご確認ください。

学科	科目	箇所	誤	正	コード	ページ
児童学科	-	目次 ■全学共通科目 (3年次編入学生)	聖徳教育…S2 ①	聖徳教育…S2 ③	-	xi
心理学科	発達心理学Ⅰ (幼児・学童)	科目名	発達心理学Ⅰ(幼児・学童) ※正科生・課程正科生のみ	発達心理学Ⅰ(幼児・学童) ※ 正科生 課程正科生のみ	P002	34
社会福祉学科	介護概論	レポート課題	通信1単位分のレポートを提出し合格した後、スクーリングを受講してください。	通信1単位分のレポートを提出した 後 、スクーリングを受講してください。	D120	別冊3
	こころとからだのしくみⅠ	科目名	こころとからだⅠ	こころとからだの しくみ Ⅰ	D127	別冊9
	こころとからだのしくみⅡ	科目名	こころとからだⅡ	こころとからだの しくみ Ⅱ	D128	別冊10

科目終了試験について

重要 旧課題対応の科目終了試験について

4月からのレポート課題及びテキスト教材の変更に伴い、下記科目の2010年度までのレポート課題(旧課題)対応の科目終了試験は、**2012年9月23日(日)を最終とさせていただきますので、ご了承ください。**

学科	科目名	教員	コード
心理学科	障害児心理学※正科生・課程正科生のみ	腰川 一恵	P028
	教育経営論	森 聖雨	K006
社会福祉学科	健康科学	小谷 美知子	D055
英米文化学科	教育経営論	森 聖雨	K006
日本文化学科	アジアの文化Ⅱ	海老江 康二	J050

再掲 日「書道Ⅲ」科目終了試験について

平成23年5月8日科目終了試験より、実施方法が下記の通り変更します。

現行	変更後
在宅試験と会場試験の併用	会場試験のみ

「履修と学習の手引」について

重要 平成24年度「履修と学習の手引」の誤植について

平成24年度「履修と学習の手引」の一部において誤りがございましたので、以下の通り訂正いたします。

箇所	誤	正	ページ
(4) 在宅試験について	①日本文化学科で開設されている通信科目の「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」「書道Ⅲ」「書写・書道Ⅰ」「書写・書道Ⅱ」、児童学科で開設されている通信科目の「書写・書道」の科目終了試験は在宅での試験になります。	①日本文化学科で開設されている通信科目の「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」「書道Ⅲ」「書写・書道Ⅰ」「書写・書道Ⅱ」、児童学科で開設されている通信科目の「書写・書道」の科目終了試験は在宅での試験になります。	192
学籍について 9 再入学	(4) 再入学者の在籍期間は8力年とし～	(4) 再入学者の在籍期間は8力年(編入学生は5力年)とし～	226

● 166ページ小学校教諭免許状 教職科目全般部分の正しい表

教職科目全般	教職入門	2	12単位以上	同左	同左
	教育基礎論	2			
	発達心理学Ⅰ	2			
	障害児心理学	2			
	教育社会学	2			
	教育課程論	2			
	道德教育の研究	2			
	特別活動の指導法	2			
	教育方法学	2			
	生徒指導(進路指導を含む)	2			
	教育相談	2			
	総合演習※	2			
	教職実践演習(幼・小)※	2			

レポート作成のアドバイス

目「鎌倉・室町・江戸文学講読Ⅰ」・「鎌倉・室町・江戸文学講読Ⅱ」履修者へ

昨年より、レポートの形式面で不可とせざるを得ない事例が急速に増えています。本科目は、国語科の教員免許状や図書館司書、社会教育主事などの資格取得を目指す方が多いという特徴があります。従って、将来、教育職につく方のために、レポートの書き方については基本を重視します。

■ レポートの書き方を学ぶ

レポートの書き方は、「日本語表現法Ⅰ」のスクーリングでも確認しております。けれどもレポートの書き方でつまづいている方には、次の本を参照してから課題に取り組むことをお勧めします。

レポート作成の参考文献

- ①石原千秋『大学生の論文執筆法』 ちくま新書 2006年6月
- ②小笠原 喜康『大学生のためのレポート・論文術 インターネット活用編』 講談社 現代新書 2003年8月 *インターネットについては、〈参考文献のレベル〉参照のこと。
- ③小笠原喜康 新版『大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書 2009年11月

ここに挙げた本はいずれも比較的入手しやすく、特に①石原千秋先生の御著書は、文系のレポートすべてに役立つと思います。

■ レポートは調べ学習の成果

「鎌倉・室町・江戸文学講読Ⅰ」・「鎌倉・室町・江戸文学講読Ⅱ」では、実際に古典『平家物語』(テキスト)や『古今著聞集』を読んだ上で、課題に答えるための「調べ学習」をするよう求めています。課題で、「論じる」ためには、確かな根拠が必要です。根拠は、古典の本文を挙げるのであれば、どこにその文が書いてある

大学

■ レポート・科目終了試験

スクーリング

お知らせ

重要 CHECK BOX

平成24年度「履修と学習の手引」の誤植について

大学

レポート・科目終了試験

スクーリング

お知らせ

のかを、読み手に分かるように示さなければなりません。単に『平家物語』としか書いていなければ、本当に書き手がその文を自分で捜して読解し、読み手に読んでもらうための努力をしたとは認められません。自分の努力や成果をしっかりとアピールするためには、原則として引用本文の前に典拠を示します。例えばテキストを用いる場合、次のように記します。

例)『平家物語』第〇巻、「(章段名)」〇頁は、次のように述べている。

参考文献の示し方や引用の仕方には、ルールがあります。カッコの使い分けもその一つです。

■参考文献のレベル

参考文献にテキスト『平家物語』を挙げることは、「教科書」の範囲です。しかし本学の『学習指導書』を挙げることは認めていません。『学習指導書』は、「学習の仕方」を説明したもので、レポート課題に対する解答の根拠にはならないからです。困ったことに、『学習指導書』と参考文献の区別がついていない場合、多くは書いている内容も不十分です。さらに、全員が読んで当たり前の『学習指導書』を、本人が努力して「調べ学習」を行ったものとはみとめられません。必ず大学生にふさわしいレベル—概ね新書や選書(事典類を含む)3点以上を調べて報告して下さい。過去に、本の名をたくさんリストアップして参考文献の欄に挙げたケースがありました。しかし、その参考文献をレポートのどこに生かしたのか、「注」などで示していなかったために、本人の学習成果と認めることができませんでした。参考文献については、『学習指導書』の最初にも述べていますので、確認して下さい。

良い参考文献を読むことは、大学生の学習にとっても重要です。良い本からは、どのように論理を組み立てれば説得力のある意見(解答)が書けるかを学ぶことができます。従って、入門書や一般書、例えば「〇〇早わかり」「〇〇で分かる××」のようなものは、くれぐれも避けて下さい。インターネットも、次に述べるように著作権や信憑性の問題が大きく、原則として認めていません。

■自他の区別を付ける

参考文献を読んだら、著者名、書名、出版社名、発行年月と、ルールに従って本文の中または末尾に示します。ところが、先生方の本や事典にすでに載っていることを、典拠を断らないで書いているケースが増えています。「正しいこと」を書くのがレポートだと考えているせいなのでしょうか。しかし、例えば学生であっても「盗作」は決して許されることではありません。学習の筋道が明らかかどうかは、評価をする上で重要なポイントです。しかし逆に、レポートの大半が引用ばかり、極端な場合、テキスト本文の書き抜きと感想文しか書いていないというのは困ります。正確な根拠を挙げた上で論理を組み立てましょう。その上で調べて分かったことを示し、最後に自分の意見(解答)を述べて下さい。

■課題に対応して書く

近年、結論が抜けていたり、課題に対してずれているものが目立ちます。ぜひ、課題の目的を考えて、結論部が課題に込んでいるかどうかを確認して下さい。



スクーリング

平成24年度 GWスクーリングについて

再掲 日程

学科	科目名	日程	備考	受講料
児童学科・社会福祉学科	精神保健福祉論	5月4日～6日		8,000円
	精神保健福祉援助演習	5月4日～6日	受講条件は本誌p19を参照	8,000円

※申込は締切済みです。

再掲 教材

科目名	教材
精神保健福祉論	既に配本済の教科書を使用します。 精神保健福祉法の条文（コピーでも可）を持参してください（社会福祉小六法等に入っています）。
精神保健福祉援助演習	当日プリントを配布します。

再掲 その他

授業期間中は祝日のため購買部を含む学内施設は営業しておりません。昼食等については学内でお買い求めいただけませんのでご了承ください。

また通信教育学務課につきましても特別出勤体制になっております。学割などは事前に申込みをしておくようにしてください。

平成24年度 夏期スクーリングについて

日程や持ち物、申込用紙は後日発送の「スクーリングのしおり」、『聖徳通信』にてご連絡いたします。それ以前のお問い合わせには応じられません。

また事前提出・合格が条件となっている科目のレポート提出締切日は**5月25日（金）必着**、事前合格が必要な科目の科目終了試験は**5月13日（日）の試験結果までが有効**です。

夏期スクーリングの申込締切は**6月1日（金）必着**になります。日程は5月中旬発送の「スクーリングのしおり」に掲載いたします。申込書も同時発送となりますので、お待ちください。

日程について

日程については、後日発送の「スクーリングのしおり」に掲載します。それ以前のお問い合わせには応じられません。

「スクーリングのしおり」が5月23日（水）を過ぎても届かない場合はお電話にてご連絡ください。（しおり不着による申込締切の延長・特別措置はありません）

●スクーリング申込締切…6月1日（金）必着

（申込書は「スクーリングのしおり」に同封されます）

大学

レポート・科目終了試験

スクーリング

お知らせ

再掲 平成24年度開講で受講条件のある科目

平成24年度「履修と学習の手引」208～209ページから変更が生じています。こちらが最新のものとなりますのでご注意ください。

児童学科の社会福祉コースの方は、社会福祉学科の欄をご確認ください。

大学

レポート・科目終了試験

スクーリング

お知らせ

学科	科目名	条件
児童学科	国語科教育法	レポート1課題提出済
	社会科教育法	レポート1課題提出済
	算数科教育法	レポート1課題提出済
	理科教育法	レポート1課題提出済
	生活科教育法	レポート1課題提出済
	音楽科教育法	レポート1課題提出済
	家庭科教育法	レポート1課題提出済
	体育科教育法	レポート1課題提出済
	社会Ⅰ	レポート1課題提出済
	乳児保育	レポート1課題提出済
	保育内容指導演Ⅰ	保育内容指導演Ⅶのレポート提出済
	保育内容指導演Ⅱ	保育内容指導演Ⅶのレポート提出済
	保育内容指導演Ⅲ	保育内容指導演Ⅷのレポート提出済
	社会福祉援助技術各論Ⅰ	レポート1課題提出済
	教育学演習	レポート1課題提出済
	障害児保育(11年度以降入学生)	レポート1課題提出済
社会福祉学科	精神医学	レポート3課題提出済
	介護概論	レポート1課題提出済
	介護概論Ⅰ	レポート1課題提出済
	精神保健福祉援助技術総論	本誌p19参照
	精神保健福祉援助技術各論	本誌p19参照
	精神保健福祉援助演習	本誌p19参照
	社会福祉援助技術演習(09年度以降入学生)	ソーシャルワーク論の第2課題提出済 社会福祉援助技術演習の第1課題提出済 (社会福祉士課程履修者のみ)
	社会福祉援助技術演習(12年度入学生)	『聖徳通信5月号』で掲載します
	社会福祉援助技術現場実習事前指導(09年度以降入学生)	レポート1課題合格済
	社会福祉援助技術現場実習事前指導Ⅰ	社会福祉援助技術現場実習事前指導Ⅱ レポート第一課題合格済
	精神保健福祉援助の基盤(基礎)	本誌p19参照(12年度入学生のみ)
	精神保健福祉援助の基盤(専門)	本誌p19参照(12年度入学生のみ)
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	本誌p19参照(12年度入学生のみ)
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	本誌p19参照(12年度入学生のみ)
	精神保健福祉援助演習(基礎)	本誌p19参照(12年度入学生のみ)
	精神保健福祉援助演習(専門)	本誌p19参照(12年度入学生のみ)
養護・看護実習事前指導	レポート2課題合格済 (養護概説・学校保健・基礎看護)	
心理学科	発達心理学Ⅰ	レポート1課題提出済
	人格心理学	レポート2課題提出済
	社会心理学	レポート2課題提出済
	学習心理学	レポート2課題提出済
	認知心理学	レポート2課題提出済
	家族心理学	レポート2課題提出済
	精神医学	レポート3課題提出済
	臨床心理学	レポート2課題提出済
	ストレス心理学	レポート2課題提出済
	応用心理統計法	基礎心理統計法を合格済
	老年心理学	レポート2課題提出済

学科	科目名	条件
英米文化	英語科教育法Ⅱ	英語科教育法Ⅰを合格済
日本文化学科	レファレンスサービス演習 ※1	情報サービス概説を合格済
	江戸時代文学史Ⅰ	レポート1課題提出済
	資料組織演習Ⅰ	資料組織概説Ⅰ・Ⅱを合格済
	資料組織演習Ⅱ	資料組織概説Ⅰ・Ⅱを合格済
	情報検索演習Ⅰ ※2	情報サービス概説を合格済
	情報検索演習Ⅱ ※2	情報サービス概説を合格済
	日本文化の知識Ⅱ	日本文化の知識Ⅰを合格済
	情報サービス演習Ⅰ	情報サービス論を合格済
	情報サービス演習Ⅱ	情報サービス論を合格済 情報サービス演習Ⅰを受講済(同時期の受講可)
	情報資源組織演習Ⅰ	情報資源組織論を合格済
	情報資源組織演習Ⅱ	情報資源組織論を合格済
	図書館サービス特論	情報サービス演習Ⅰを受講済(同時期の受講可)

大学

レポート・科目終了試験

スクーリング

お知らせ

掲載されている科目は現時点での予定ですので、開講しない場合もあります。

夏期スクーリングの事前レポートの提出締切は平成24年5月25日(金)必着となります。事前合格条件の科目もこの日までに提出し、レポートを合格する必要があります。

また科目の合格済みが条件の科目は平成24年5月13日(日)の科目終了試験までに合格する必要があります。

※実習の事前指導は実習派遣条件となっている科目すべてのレポート提出、スクーリング受講済が受講の条件となります(スクーリングは同時期に開催するものを受講予定の場合でも可)。

※児童学科社会福祉コースの方は、社会福祉学科の受講条件を参照してください。

※1 レファレンスサービス演習については情報検索演習Ⅰの応用の内容となるため、できるだけ情報検索演習Ⅰ履修後に受講してください。

※2 この条件は1年次・2年次入学生には適用されません。

11年度までの入学生

科目名	レポート提出の条件	スクーリング(実習)受講の条件
精神保健福祉 援助技術総論	まず第1課題のみ提出 第1課題合格後に第2課題、第3課題提出 (第2と第3は同時提出可)	レポート第1課題提出
精神保健福祉 援助技術各論	総論のレポート3課題分すべて合格 (総論のレポートの確認後の提出)	総論のスクーリング受講 (同時期の総論と各論の連続受講可)
精神保健福祉 援助演習	—	総論の修得 (レポート、スクーリングともに合格) 各論のスクーリングの受講・合格 (同時期での受講不可)

2012年度入学生(2012年度春スクーリングより適用となります)

科目名	スクーリング(実習)受講の条件
★精神保健福祉 援助の基盤(基礎)	レポート1課題提出済
精神保健福祉 援助の基盤(専門)	レポート1課題提出済
精神保健福祉の理論 と相談援助の展開Ⅰ	レポート3課題提出済 精神保健福祉援助の基盤(基礎)(専門)のスクーリング合格済
精神保健福祉の理論 と相談援助の展開Ⅱ	レポート3課題提出済 精神保健福祉援助の基盤(基礎)(専門)のスクーリング合格済
精神保健福祉 援助演習(基礎)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱのスクーリングを受講済(同時期の受講可)
精神保健福祉 援助演習(専門)	精神保健福祉援助演習(基礎)を合格済

※こちらは精神保健福祉士課程を履修していない方には該当しません。

※★科目のレポートを最初に提出してください。

お知らせ

重要 平成24年度 秋期卒業予定の方へ

大学

レポート・科目終了試験□

スクーリング□

お知らせ■

重要 CHECK BOX

平成24年度 秋期卒業予定の方へ

今年9月に卒業を予定している学生は、平成24年度「履修と学習の手引」219ページからの[卒業について]を参照し、平成24年度「履修と学習の手引」281ページ**卒業予定届**〈様式12〉を期限までに間違いのないように提出してください。

●卒業のための条件

- ① 正科生で修業年限以上在学していること(課程正科生・科目等履修生は卒業はありません)。
- ② 平成24年9月までの学費が納入済みであること。
- ③ 平成24年9月までに各課程の必修科目の修得単位数が修得見込みであること。

※科目終了試験・スクーリング・音楽実技(ピアノ)の締切り

科目終了試験 〔レポート締切〕	スクーリング科目	音楽実技(ピアノ) 〔受付締切〕
平成24年7月1日(日) 〔平成24年4月26日(木)〕	平成24年8月末までに 受講の科目	平成24年7月29日(日) 〔平成24年7月13日(金)〕

なお、**規定以降の試験を申込み・受験した方は、結果にかかわらず卒業辞退とみなします。**卒業に関係のない科目でも認められませんので、ご注意ください。

※実習録の提出について

提出期限
平成24年7月13日(金) 17時30分必着 (ただし、「精神保健福祉援助実習」及び「養護・看護実習」の実習録は事後指導当日持参となります。)

実習の評価は、実習録と実習先の評価票をもとに、事後指導終了後、確定されます。実習先の評価票が学校に届くまでは実習が終了してから、10日間以上要します。

※科目終了試験のない科目のレポートの締切日(スクーリング併用科目・見込み受験をした科目等)

提出期限
平成24年6月29日(金) 17時30分必着

●卒業予定届用紙の提出

①卒業予定届受付期間

開始 5月14日(月)より

締切 **5月25日(金) 17時30分必着**

※上記の期間以外での受け付けはできません。間に合わない場合、卒業ができなくなりますので、ご注意ください。

※平成24年度「履修と学習の手引」281ページ**卒業予定届**〈様式12〉用紙に、記入捺印の上、提出のこと。必ず黒インクまたは黒ボールペンを使用のこと。

②あらかじめ戸籍抄本を取寄せておくこと。届出の氏名は戸籍登載の文字を記入すること。

誤記訂正が生じた場合でも受付期間後は認められないので、十分に注意のこと。

③未修得科目の欄は、未修得の科目名、未返却のレポートを必ず記入する(音楽実技については未修得の曲名を記入すること)。

④実習の予定欄については、今後実習を予定している学生は必ず記入する。

⑤予定届と同時に戸籍抄本を提出のこと。

⑥既に前回までに届出て、取消した学生も改めて用紙と戸籍抄本を添えて届出のこと(証明印は3ヶ月以内のもの)。この提出がない場合は卒業予定として取扱われないので注意。

⑦提出書類は一切返却しません。あらかじめご了承ください。

⑧「卒業予定届」を期間内に提出した学生には「卒業予定届受理通知」を送付いたします。発送時期は6月中旬を予定しておりますので、7月になっても「卒業予定届受理通知」が届かない場合は通信教育学務課までご連絡ください。受理通知がない方は「予定届」未提出との扱いになりますのでご注意ください。

※詳しくは平成24年度「履修と学習の手引」219ページからを確認してください。

連絡事項

社 平成17年度から平成20年度までに社会福祉学科に入学し、 社会福祉士の課程登録をされている方へ(再入学後の履修科目変更のお知らせ)

平成17年度から平成20年度までに社会福祉学科に入学し、社会福祉士の課程登録をする方が再入学する場合、平成25年度4月以降は、一部の科目が新カリキュラムでの学習となります。

平成24年度3月までに、卒業を目指して学習を進めてください。

なお、旧カリキュラムから新カリキュラムへの読替表は次号で掲載いたします。

再掲 教職実践演習導入に伴う経過措置について

平成22年4月から教員免許状取得のために「教育実践演習」新設に伴い適用以前入学の学生のみなさんはなるべく早く「総合演習」を修得するようにご案内申し上げましたが、「教職実践演習」導入に伴う経過措置は下記の通りとなりますので、平成22年4月以前の入学の方は十分に注意してください。

	附則第2条		附則第3条		平成22年度以降入学生 (旧課程への入学者を除く)
平成22年3月31日 時点	在学中の者				入学
平成22年4月1日	平成22年度以降入学生以外の者 で附則第2項の適用を受けない者 ↓ ●平成22年度以降に旧課程に 相当する学年に入学した者 (編入学・転入学・再入学など) ●科目等履修生				
平成25年3月31日 時点	総合演習未修得	総合演習修得済	総合演習修得済	総合演習未修得	
	在学	卒業	卒業 ※教職に関する科目の最低修得単位数修得済	卒業 ※教職に関する科目の最低修得単位数未修得	
平成25年4月1日 以降	★	教職実践演習 要修得	教職実践演習 修得不要	教職実践演習 修得不要	教職実践演習 要修得

大学

レポート・科目終了試験

スクーリング

■お知らせ

大学

レポート・科目終了試験□

スクーリング□

お知らせ■

再掲 図書館司書課程カリキュラムの変更について

図書館法施行規則の一部改正（「図書館法施行規則の一部を改正する省令」文部科学省令第21号）に伴い、図書館司書課程につきましては、平成24年4月入学生から新カリキュラムにおける科目（以降「新科目」）の履修が始まります。

在学生のみなさまの平成24年度以降履修につきましては、平成23年度『聖徳通信2月号（26ページ）・3月号（22ページ）』にてご確認ください。

再掲 児 社 英 日 卒業研究（論文）について

平成25年9月卒業予定生で4年次に卒業研究（児童学科・社会福祉学科・日本文化学科）、卒業論文（英米文化学科）の作成を希望する学生は、平成24年7月31日までに通信教育学務課までご連絡ください。**卒業論文履修届の提出期限は平成24年6月9日～9月15日を予定しています。**

なお、卒業研究（論文）作成を取止め、科目の変更をする方は、「科目変更願」を提出してください。

※3年次編入の方は、卒業研究を履修されても、卒業単位に組込むことはできません。

※心理学科の卒業研究につきましては、手続日程が異なります。